

■ チンギス・ハンとモンゴル帝国

当時、金(中国)の奴隷狩りの地であったモンゴル民族がなぜ、13世紀世界最強・最大の帝国を築きあげることができたのか？

- ポイント
1. 当時、遊牧民は「個」の戦闘力は最強。その潜在力が開花
 2. チンギス・ハンの「リーダーシップ力」で従服事業本格化
 3. しくみ=戦術・組織力・情報力・徴税力を手にし最強帝国へ

1. チンギス・ハンの登場

- 1162 テムジン誕生
→父イェスゲイの毒殺
→9歳からの極貧生活
「自身は蒼い狼の子の子孫である」誇りを胸に成長『元朝秘史』
- 1206 **クリルタイ** (族長会議)
- 1220 征服事業本格化

■ チンギス・ハン流リーダーシップを物語るエピソード

エピソード① チンギス・ハンの怖い話
兄弟げんかで第2人を〇〇！

エピソード② チンギス・ハンの怖い話
「人間の幸せとは何か？」→仰天の答えとは…

エピソード③ チンギス・ハンの冷静さ
耶律楚材の「農民からたっぷり税金とれませ」に1年実証

2. モンゴル帝国軍はなぜ強かった？

1. 4戸制

2. 騎馬戦術 — なぜ「個」の力が最強？

3. 機動力を駆使する戦術

4. 戦地で「食料常時確保」戦術 — なんて？

5. **イスラム商人**と協力 — なぜ？

6. 有能な人材を登用 — なぜ？

7. 「恐怖の軍隊」戦術

草原地帯
放牧生活

食料不足
→争いが絶えない

馬に乗る毎日
→騎馬力

草原地帯で獲物
→遠くを見渡せる

→戦争の鉄則

= 兵站機能の整備！

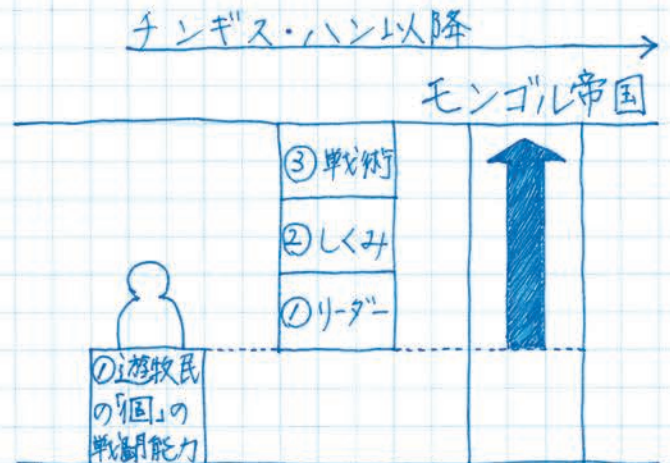
→ ✓ 安全な隊商路の確保

✓ モンゴルの拡大 → 国境消滅 → 利益

✓ 遊牧民は「個人技」が得意だけど組織力なし

✓ モンゴルの拡大 → 国境消滅 → 利益

■ 図にすると…



■ 整理をすると…

モンゴル帝国を築いた
「4つの最強」

①「遊牧民」は「個」の戦闘能力で最強だった。

②そこに最強の「リーダー」が登場し、

③最強の「しくみ」が加わり、

④最強の「戦術」が機能し、

世界の歴史を変える巨大帝国が誕生した。